



優秀賞



宇宙航空研究開発機構
Japan Aerospace Exploration Agency



富士電機

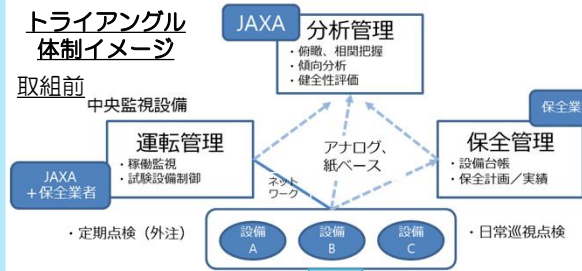


建物とともに生きる
日本メックス

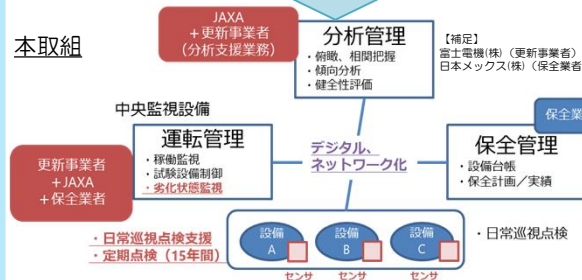
将来の電気保安イメージ

トライアングル 体制イメージ

取組前



本取組



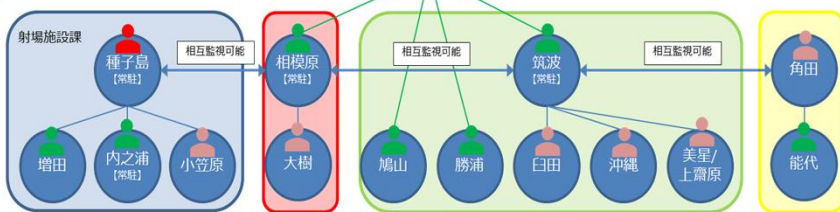
-  : 第二種電気主任技術者（調布・種子島・外注NG）
-  : 第三種電気主任技術者（外注OK）
-  : 担当技術者（※1, 外注OK）
-  : ハッチの色毎、共通施設設備保全調達ロット（案）

④監査の強化

企画・計画

将来の電気保安イメージ

- 施設保全に関する業務を集約化・評価取り纏め
- 一例：調布施設棟内へ保全センター（フィジカル）設置
- ✓ プラットフォームにて電気保安の広域的監視（バーチャル）実施。
 - ✓ 現場ではリアルタイム状態監視が可能。
 - ✓ 休日夜間、非常時、突発不具合発生時に、広域的監視で調布から各拠点担当者へ指示、将来には巡回保守を旨とする。



総括制度：旧一電所掌毎に総括事業所を設定し「総括」電気主任技術者（第2種）を設置、被総括事業所に担当技術者（第3種等）が2H以内に駆け付けけることで保安可能と判断され、配置要件緩和。
例えば、調布を総括事業場へ指定、第二種電気主任技術者1人常勤し、東電管内の相模原、筑波、鳩山、勝

現在				第二種	第三種		FY2027～	第二種	第三種等	備考
(※1)担当技術者:										
電気主任技術者免状保有者(各種)	筑波	○		➡	筑波				(例)調書を総務事業所指定	
	相模原	○			相模原			○		
電気工事士免状保有者(各種)	調布	○			調布	○				
	調布				調布			○		
	調布	○			調布			○		
認定校卒業者	鳩山		○		鳩山			○		

(注) 2022.4.15 産業保安G電力安全課「主任技術者制度に係る見直し」について、特約

電力分野

宇宙開発等電力インフラを支えるトライアングル体制構築と保安高度化・省力省人化両立

取組概要

国内19事業所等で保有する施設及び基幹インフラのライフサイクル全体をマネジメントしている。施設の状態監視保全（CBM）化を図ると共に、遠隔監視・広域運用化も併せて持続可能なインフラ保全実現を目指しているところである。調布地区において、特高受変電設備更新に併せて保全管理、運転管理、総括マネジメントを連携して実施する体制の構築と、必要なツール（スマート保全システム）を整備し運用を開始した。なお、他事業所も順次、更新整備し、需要家として電力保安体制の強化を図る。

受賞理由

事業場電気設備の設備更新に際して、メンテナンスを含む契約とすることで、設備の保全、運転を行う事業者とのデータ連係を確保して保安体制を効率化。持続可能な電気保安を可能とする体制を構築したことが評価された。

取組のポイント

JAXA（国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構）としてスマート保全アクションプランを策定・推進。デジタルネットワークで繋がる先進的なトライアングル体制を実効的なものとするため、15年間の維持管理を更新・整備に包括した総合評価方式を用いて事業者を選定するオリジナル手法を確立した。

調布に留まらず、内之浦や他事業所に監視システムを継続かつ計画的に整備しており、JAXA地上施設及び基幹インフラ全体の保全水準を向上させている。

受賞者について



受賞者

(写真左上から)

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 施設部
田口 博晃／望月 裕之／石原 暁
富士電機株式会社：福島 宗次／小池 一徳
日本メックス株式会社：北原 昭治／米山 修司

コメント

この度は電力分野の優秀賞という名誉ある賞をいただき、光栄に存じます。

特色ある事業所に応じた電力保安を確実に管理するため共通的なプラットフォーム構築を進めてまいりました。今後も順次拡張し、事業基盤となる電力設備のスマート保安、更には施設全体のスマート保安を推進すると共に、得られた成果について社会還元していけるよう取り組んでまいります。

团体概要

施設部は、宇宙航空事業に関わるインフラ、施設、人などの大切なものを守り、研究開発成果の社会実装を通じて、インフラ、施設を「造り」、人々の生活を「作る」ことで幸せを創ることを目指しています。

問い合わせ先

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
一級建築士事務所 (担当:石原)
SHISUI-ALL@m.jaxa.jp